

ランチョンセミナー 7

2月21日 (土) 12:10 ~ 13:00

第1会場 (Conference Hall A)

角膜内皮移植の イノベーション IX

座長



西田 幸二 先生
(大阪大学)

角膜内皮移植は、近年その術式や関連技術の進化により治療の選択肢が広がっています。本シリーズ「角膜内皮移植のイノベーション」は、こうした最新動向を共有する場として、今回で第9回を迎えます。これまで、角膜移植に関わるテクノロジーや新しい手技、難症例への対応など、多様なテーマを取り上げてきました。特に、HOYAと共同開発したDSAEK用グラフト挿入器「NS Endo-Insertor」については、製品コンセプトから具体的な手技、臨床エビデンスまで継続的に報告してまいりました。

今回は、角膜移植の新しい潮流を再確認し、現在の具体的な取り組みについてエキスパートの先生方にご講演いただきます。相馬剛至先生には、進化を続ける角膜移植領域の教育を大学施設でどのように実践しているかをご紹介します。山田直之先生には、自施設でのDSAEK導入以来のトレンドを振り返り、特に難症例における術式選択についてお話しいたします。平山雅敏先生からは、複数施設での経験を踏まえた新たな知見や現在の取り組みを共有していただきます。本セミナーが、日常臨床に直結する知見を提供し、角膜移植のさらなる発展に寄与することを願っています。

演者
1



相馬 剛至 先生
(大阪大学)

全国調査に基づく 日本の角膜移植の実態とトレンド

演者
2



山田 直之 先生
(山口大学)

DSAEK～私のTips～

演者
3



平山 雅敏 先生
(福岡大学)

角膜移植におけるDSAEKを考える

HOYA
SURGICAL OPTICS